

立山町公共交通活性化協議会交通WG（第3回）の開催結果について

1 会議の概要

- (1) 日 時 令和7年10月7日（火） 13時50分～15時00分
- (2) 出席者 交通WG構成員 10人
- (3) 議 事 ① 立山町地域公共交通計画の策定に向けた議論の経過について
② 立山町地域公共交通計画（素案）について

2 主な意見

(1) 立山町地域公共交通計画（素案）について

- ・鉄道事業者からは、定期利用者への取組の強化について意見があった。
- ・バス事業者からは、ドライバー不足への対応、校外学習等への公共交通の活用、目標設定等に関する意見があった。
- ・タクシー事業者からは、タクシーの稼働が少ない現状や需要を増やす取組に関する意見があった。
- ・行政からは、事業者ノウハウの活用や重点事業、立山町の取組の掲載方法について意見があった。

発言者	意見概要
鉄道事業者	<ul style="list-style-type: none">・立山線の乗降者数を伸ばすには、定期外だけでなく、定期利用者に力を入れる必要がある。このほか、モビリティマネジメントとしての個別訪問などの取組も重要である。
バス事業者	<ul style="list-style-type: none">・車に乗れなくなったときには、公共交通の乗り方が分からず、その結果、外出しなくなることから、若い頃から公共交通を利用する施策が必要である。運転手不足への対応としては、ダウンサイ징や夜間における役割分担、利用者の拡大策、若い世代が運転手になるための支援策も必要である。・公共交通で行ける校外学習等でも、スクールバスによる移動が多く、配車が組めない状況も出てきている。基本方針4の交通リテラシー教育の一環として、学校の校外学習等でも公共交通をさらに活用いただきたい。・町営バスの見直しに向けて現況把握や先進地視察を実施している。タクシー事業者の協力がなければ再編は叶わないとため、協力をお願いしたい。町営バスの目標として「利用者数」と「収支」があるが、デマンド化により新たな経費が必要であり、収支削減の達成には不安を感じている。
タクシー事業者	<ul style="list-style-type: none">・計画は電車とバスを中心に作成されており、タクシーが関与できるところがあまりない。町内に商業施設が少ないため、タクシーが稼働しにくい。タクシーの役割は電車やバスの補完と考えている。・タクシーの利用を増やすには、ロケ地巡り等の需要を増やす取組に力を入れることが必要。少しでも町の中で動く人が増えるような取組があれば、事業者としての協力は可能である。
介護タクシー事業者	<ul style="list-style-type: none">・我々にできることは積極的に協力したい。地域包括ケアシステムの中で、もう少し介護タクシーを町で取りあげるなど、要介護者の移動支援にも力を入れてほしい。公共交通を利用できなくなることで外出をあきらめ、それが介護度の上昇や健康寿命の低下に直結している。

行政	<ul style="list-style-type: none">・<u>デマンド交通</u>は既存のタクシーのように運行されるため、地理に詳しいタクシ一事業者のノウハウが活用できる。<u>重点事業</u>が何を指すのか住民に伝わりにくいのではないか。・事例の掲載がたくさんある中で、少し<u>立山町の取組が見えにくく感じる</u>ので、この部分を改善してはどうか。町民に伝わった方がより親しんでいただける。また、駅周辺まちづくりの面では、「<u>みらいぶ</u>」を核に様々な取組やイベントを実施していることを踏まえ、<u>写真を入れるとこの部分が伝わりやすくなる</u>のではないか。
----	--